

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																											
ECC国際外語専門学校		昭和59年2月20日		瀧山淳一		〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-1-6 (電話) 06-6311-1446																											
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																											
学校法人山口学園		昭和58年11月22日		理事長 酒元英二		〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-3-35 (電話) 06-6366-1440																											
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																										
文化・教養	語学ビジネス専門課程	ホテル・観光学科ホテルコース				平成26年文部科学省 認定	-																										
学科の目的	<p>本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、語学ビジネス専門教育を通じて、実社会に有用な人材の育成を目的とする。以て国際間の人々の交流と相互理解を促進し、世界の文化向上とその恒久平和樹立に寄与したい。そのために以下の4項目をホテル・観光学科(ホテルコース)の学科目標として掲げている。</p> <p>①ホテル業界・企業出身の講師・専門家による理論と実学教育を通じて、最先端の情報と技術を提供することにより業界や企業が求める即戦力を伴った人材養成教育を行う。</p> <p>②授業で得た知識・技能をホテル・観光地・企業などの現場で実践することにより、接客実戦(経験)力を高める教育を行う。</p> <p>③専門知識・技能を証明する資格(サービス接客検定・ホテルビジネス実務検定・サービス介助士検定)取得教育を行う。</p> <p>④英語能力を磨き外国人のお客様とのコミュニケーション能力を高める実用英語教育を行う。</p>																																
認定年月日	平成26年3月31日																																
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																										
2年	昼間	1710	1800	0	0	0	0																										
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																												
66人	36人	0人	2人	6人	8人																												
学期制度	<p>■前期 4月 1日から 9月30日まで</p> <p>■後期 10月 1日から 3月31日まで</p>			成績評価	<p>■成績表: 有</p> <p>■成績評価の基準・方法 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。 総合評価点が60点以上であること。</p>																												
長期休み	<p>■夏期休業 8月 1日から 8月31日まで</p> <p>■冬期休業 12月20日から 1月 8日まで</p> <p>■春期休業 3月 1日から 3月31日まで</p>			卒業・進級条件	<p>【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。</p> <p>【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。</p>																												
学修支援等	<p>■クラス担任制: 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応 ・クラス担任による出欠確認 ・担任面談 ・保護者会 ・電話による対応</p>			課外活動	<p>■課外活動の種類 ・スポーツ大会 ・英語スピーチコンテスト ・夏期英語集中プログラム ・ハロウィーン ・文化祭(地球祭) ・海外語学留学(英国・韓国等) ・プレゼンテーションコンテスト ・春期就職活動プログラム</p> <p>■サークル活動: 有</p>																												
就職等の状況※2	<p>■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) シェラトンホテル大阪、ハイアットリージェンシー大阪/京都、パークハイアット東京、HOTEL THE MITSUI、ホテル日航姫路、ホテルニューオータニ大阪、森ビル(グランドハイアット東京、アンダーズ東京)、リッツカールトン京</p> <p>■就職指導内容 就職関連授業(Hotel English、プレゼンテーション、ホテリアコーディネーター、筆記試験対策)、各種ガイダンス、ホテル見学会、インターンシップ、学内企業説明会他</p> <p>■卒業生数: 28人</p> <p>■就職希望者数: 28人</p> <p>■就職者数: 27人</p> <p>■就職率: 96.4%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合: 96.4%</p> <p>■その他 ・フリーター 1人</p> <p>(令和 2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)</p>			主な学修成果(資格・検定等)※3	<p>■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レストランサービス技能検定</td> <td>①</td> <td>28</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>TOEIC600点以上</td> <td>③</td> <td>28</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>英検2級</td> <td>③</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>サービス介助士</td> <td>③</td> <td>22</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>サービス接客検定準1級</td> <td>③</td> <td>28</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	レストランサービス技能検定	①	28	27	TOEIC600点以上	③	28	5	英検2級	③	15	14	サービス介助士	③	22	21	サービス接客検定準1級	③	28	24
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																														
レストランサービス技能検定	①	28	27																														
TOEIC600点以上	③	28	5																														
英検2級	③	15	14																														
サービス介助士	③	22	21																														
サービス接客検定準1級	③	28	24																														
中途退学の現状	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 2%</p> <p>令和2年4月1日時点において、在学者53名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者52名(令和3年3月31日卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組 担任による個人面談、出席管理、保護者会(来校、TEL)実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携</p>																																

<p>経済的支援 制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有 ※有の場合、制度内容を記入 ①英語試験特待による減免 ②ライセンス優遇特待による減免 ③指定大学・短大卒業による減免 ④大学・短大・専門学校卒業による減免 ⑤山口学園ご家族紹介優遇 ⑥ECC学習経験者優遇 ⑦関西外大・山口勇記念奨学生制度</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>
<p>第三者による 学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
<p>当該学科の ホームページ URL</p>	<p>https://kokusai.ecc.ac.jp/</p>

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会を設置し関連する企業、団体等との連携体制を強化し、授業科目やカリキュラムの更なる充実をはかる。業界に精通した協会および企業等より委員を選任し、年2回の委員会では以下の事項について協議をし、改善を積極的に実践する。

1. 授業内容・学習成果・進路成果を分析し、改善策を協議する。年2回実施する、学生アンケート結果や授業内容・進路内容・学校生活等の情報をもとに、教育内容の改善を行う。
2. 企業・業界からの新たなニーズや要望を受け入れ、カリキュラムや実習・授業以外のプログラムに組み込めるかを協議し、年間カリキュラム、プログラムに反映させる。そのために、積極的に就職先企業よりモニターリングを行い、職業人として必要な要素や課題の情報収集につとめる。
3. 教職員のスキル(専門知識/技術)と指導力の向上を図るために研修体制を継続的に行うための情報共有の場とする。教職員アンケート(年2回)を実施しその情報を基に、企業研修(インターンシップ)の事前教育、研修期間中、事後教育における企業との連携・調整の改善をおこなう。
4. 教育課程編成委員会で協議された内容を、学内カリキュラム編成委員会で検討し、次年度以降の実際のカリキュラムや学校事業に組み込み、採用できない場合はその背景をまとめ次年度以降の教育課程編成委員会で報告し了解を得る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

以下の①～⑤の流れに沿って編成委員会において、教育課程の改善を図る

- ① 教務課:教育に関する現状分析と課題をまとめ③の教育課程編成委員会に資料提出する。
- ② 進路指導課:進路指導に関する現状分析と課題をまとめ③の教育課程編成委員会に資料提出する。
- ③ 第1回教育課程編成委員会:教務・進路指導の課題を受け、企業・業界の立場から改善策の協議と提案する。
- ④ 学内カリキュラム編成委員会:教育課程編成委員会での協議内容に基づき審議し実施可能か決定する。
- ⑤ 第2回教育課程編成委員会:新年度の人材育成目標、カリキュラム改善点等を報告し承認を得る。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年9月30日現在

名前	所属	任期	種別
瀧山 淳一	ECC国際外語専門学校 学校長		
大谷内 圭	ECC国際外語専門学校 副校長		
長尾 邦光	ECC国際外語専門学校 教務課		
前川 菜緒子	ECC国際外語専門学校 専任教員		
杉田 典彦	ECC国際外語専門学校 進路指導課責任者		
福井 晃	一般社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会	2021/4/1～ 2023/3/31	①
木元 貴俊	ハレクラニ沖縄	2021/4/1～ 2023/3/31	③
植村 守	ウェスティンホテル大阪	2021/4/1～ 2023/3/31	③
國府 昭義	HOTEL THE MITSUI KYOTO	2021/4/1～ 2023/3/31	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年7月27日 14:00～16:00

第2回 令和3年2月9日 14:00～16:00

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

コロナ禍で予定していた研修が中止になるなど、学生のモチベーション維持に苦労している。そのことについてご意見として、現在ホテルで働いている卒業生に來校してもらい、在校生にお話をしてもらうのはいかがでしょうかという提案をいただいた。

実際、2021年度前期の授業内で卒業生3名に來校してもらい、講演してもらうことで、ホテル業界への就職に向けて在校生のモチベーションを上げる事ができた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

1. 企業等との連携による実習・演習等の目的
 - ・ 業界の実態を理解するために仕組み、内容、最新情報・技術を学生に授業を通じて提供する。
 - ・ 業界での現場体験することにより、接客実戦(経験)力を高める。企業等と連携して実習・演習を行う。
2. 企業等との連携による実習・演習等の運営
 - ・ 企業等との連携による実習・演習等は本校教員と企業等から派遣された担当者が共同して実施する場合と、企業等から提供されたカリキュラム及び教材をもとに本校教員が授業を実施する場合がある。
 - ・ 実施された実習・演習等については教務責任者、コース担任及び教育課程編成委員会で内容を検証し改善を図る。
3. 企業等との連携による実習・演習等の評価
 - ・ 本校教員と企業担当者が共同して実施する場合は、授業の成果に対して企業担当者の評価を基に本校教員が成績評価を行う。
 - ・ カリキュラム等を提供されて実施する場合は、企業等の成績評価規程に従って本校教員が成績評価を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※ 授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

Hotel Research・ホテリエコーディネートの授業の中で授業やプログラム進行、就職に必要な技術・知識や学生評価に関して、カリキュラム、講師指導方法について指導助言をいただく。Hotel Researchでは、連携ホテルでの「一日ホテル見学」、またホテリエコーディネイトでは、夏期休暇を利用したインターンシップ体験を行う。いずれも実際のホテル現場での体験を通じて、業界で働くために必要な実践知識を学ぶとともにモチベーションを高める。

(3) 具体的な連携の例 ※ 科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
HOTEL Research I A	ホテル業界に必要な基礎知識を学び、ホテルマンとしての素養を身につける。提携ホテルにおける実習内容についてはホテル見学を実施する。	ホテル京阪ユニバーサル・タワー
ホテリエコーディネイト I B	積極的な自己との向き合い、後期に控える就職活動に向け、意識の改革を行う。ホテルマンの心得を知り、モチベーションアップを図る。	ホテル京阪ユニバーサル・タワー

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「教務規約第35条」に定められている通り、以下の基本方針を定めている。

1. 推薦学科の教員に対する研修・研究の目的

教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術等を教員が直接企業等から学ぶ研修と、教授技術等の教育に関わる研修を毎年度それぞれ1回以上実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「Withコロナ時代における外食の安全対策と課題」(連携企業等:株式会社ダイナックホールディングス)

期間: 令和元年7月29日(水) 対象: 教職員

内容: 新型コロナウイルス感染症流行に伴い、特に食の業界への影響が大きく、政府のガイドラインに基づき、実際のホテル現場で行われている感染症対策の一例の紹介

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「Hyper-QU 活用研修」(連携企業等: 図書文化社)

期間: 令和2年12月16日(水) 対象: 教職員

内容: Hyper-QUを活用したクラス運営方法や個別支援を学ぶ

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「HRS接客ベーシック検定セミナー」(連携企業等: 日本ホテル・レストランサービス技能協会)

期間: 令和2年11月7日(日) 対象: 教職員

内容: 「接客ベーシック検定」での受験者の資質チェックを筆記試験と同日に行う。又、合格対策を学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教授力向上研修」(連携企業等: 佛教大学)
 期間: 令和4年2月14日(月) 対象: 教職員
 内容: 現学生の傾向をつかみ、それに対応する教授技術を学ぶ。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の「学校評価実施規定」に学校関係者評価について以下のように定めている。
 (学校関係者評価)
 第11条 校長は自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会(以下「関係者委員会」という。)に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用しなければならない。
 (関係者委員会の構成)
 第12条 関係者委員会は、次に掲げる区分から校長が委託する委員により構成する。
 (1) 関連業界等関係者 2名以上 (2) 卒業生 1名 (3) 保護者または地域関係者 1名 (4) その他校長が必要と認める者1名
 2 委員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。
 (関係者委員会の運営)
 第13条 関係者委員会に委員長を置く。
 2 関係者委員会は、校長が招集し、委員長がその運営にあたる。
 3 校長が必要と認める場合は、関係者委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。
 4 関係者委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会することができない。
 5 関係者委員会は、自己評価の進捗状況に応じ次年度の計画策定までの間に開催しなければならない。
 (報酬及び費用弁償)
 第14条 関係者委員会の報酬及び費用弁償については、本校が定める基準により支払う。
 (学校関係者評価の評価結果)
 第15条 委員長は、関係者委員会による評価結果をまとめ、報告書を作成しなければならない。
 (学校関係者評価の活用)
 第16条 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。
 (学校関係者評価結果の報告)
 第17条 校長は、学校関係者評価結果を理事会に報告しなければならない。
 (学校関係者評価結果の公表)
 第18条 校長は学校関係者評価結果について公表しなければならない。
 (その他)
 第19条 本規定に定めるもののほか本校の学校評価に関し必要な事項は、校長が別に定める。
 本校ではこの「学校評価実施規定」に則り、年間1～2回、学校関係者評価委員会を開催、学園ホームページ上に公開している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念・目的・育人人材像は定められているか ・学校における職業教育の特色は何か ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ・人事、給与に関する規定等は整備されているか ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ・授業評価の実施・評価体制はあるか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ・職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率の向上が図られているか ・資格取得率の向上が図られているか ・退学率の低減が図られているか ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。
(5)学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援は行われているか ・保護者と適切に連携しているか ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ・防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ・学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ・留学生の学修・生活指導について学内に適切な体制が整備されているか ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況
 学校関係者評価で浮かび上がった課題を基に、学生・指導に当たる教員・職員間の考え方をより緻密に合わせるために、教育目標、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーをより明確に設定した。また学生の自発的な学びを支援すべく、目標設定シートを学生自らが作成し、シートに基づいた面談を教員から定期的の実施し、目標に向かって能動的に取り組むことができるよう支援していく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年9月30日現在

名前	所属	任期	種別
西出 由佳	株式会社Kスカイ	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
塩谷 典子	株式会社TEI	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
中上 隆雄	済美地域社会福祉協議会	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	地域関係者
貴治 康夫	立命館高等学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	高校教員
原 清治	佛教大学	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	大学教員
杉井 繭	卒業生	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<https://kokusai.ecc.ac.jp/>

公表時期: 令和3年9月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校では、文部科学省生涯学習政策局が平成25年3月に発表した「専修学校における学校評価ガイドライン」附属資料5「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨および取組に当たっての視点、情報提供の内容・方法に則り、本校が設定する項目について本校及び学園のホームページ上で広く一般に公開するものとする。
 連携および協力する企業等の学校関係者に対してもホームページ上で公開している情報を提供するとともに、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会等の委員会を通じて本校の教育活動その他の学校運営の状況について理解を深めていただくものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色、校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、歴史、その他の諸活動に関する計画 例：学校安全・保健対策等
(2)各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数、カリキュラム(科目配当表(科目編成・授業時数)、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画進級・卒業の要件等(成績評価基準、卒業・終了の認定基準等)、学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定、資格取得、検定試験合格等の実績卒業生数、卒業後の進路(進学者数・主な進学先、就職者数・主な就職先)
(3)教職員	教職員数(職名別)教職員の組織、教員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技等の取り組み状況、就職支援等への取り組み支援企業・施設、業界団体等との連携によるカリキュラムの改善
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動(部活動、サークル活動、ボランティア活動等)
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い(金額、納入時期)活用できる経済的支援措置の内容等(奨学金、授業料減免等の案内等)
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果、評価結果を踏まえた改善方策
(10)国際連携の状況	留学生の受入れ・派遣状況、外国の学校等との交流状況
(11)その他	学則、学校運営の状況に関するその他の情報

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
(ホームページ)

URL:https://kokusai.ecc.ac.jp/about/self_evaluation/

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程ホテル・観光学科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1		○		英検0(2021) I A	TOPIC別に構成された英検3級レベルのテキストを使用します。文法を中心に英語の総合力を強化します。	1/前	90	6	○			○		○	
2		○		英検1(2021) I A	英検準2級レベルの問題を使用しながら、英語の総合力を伸ばします。単語テストも定期的を実施します。	1/前	90	6	○			○		○	
3		○		英検2(2021) I A	英検2級レベルの問題を使用し、英語の総合力を強化します。単語テストも定期的を実施します。	1/前	90	6	○			○		○	
4		○		英検3(2021) I A	英検準1級レベルの問題を使用し、英語の総合力を強化します。単語テストも定期的を実施します。	1/前	90	6	○			○		○	
5		○		TOEIC1(2021) I A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/前	90	6	○			○		○	
6		○		TOEIC2(2021) I A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/前	90	6	○			○	○		
7		○		Intensive English Studies 1 / Function Focus (2021) I A	当該科目Intensive English Studiesは週4回(Function Focus, Listening Focus, Grammar Focus, Voice)テーマ完結型の授業を展開します。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、基本的な文法を確認しながら、機能表現を学習し、4技能を強化します。様々なトピックや場面においてやりとりや自分の考えを発信できるようになることを目標とします	1/前	30	2	○			○		○	
8		○		Intensive English Studies 1 / Voice (2021) I A	当該科目Intensive English Studiesは週4回(Function Focus, Listening Focus, Grammar Focus, Voice)テーマ完結型の授業を展開します。Voiceの授業は外国人講師により全て英語で行われます。Function Focus, Reading & Listening Focus, Grammar Focusで習得した知識や表現を学生自身のものとして自ら実践的に使うことにより深い定着をさせることを目的とします。	1/前	30	2	○			○		○	
9		○		Intensive English Studies 1 / Reading & Listening (2021) I A	当該科目Intensive English Studiesは週4回(Function Focus, Listening Focus, Grammar Focus, Voice)テーマ完結型の授業を展開します。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、基本的な文法を確認しながら、リーディングやリスニングにも取り組み、4技能を強化します。様々なトピックや場面においてやりとりや自分の考えを発信できるようになることを目標とします。	1/前	30	2	○			○		○	
10		○		Intensive English Studies 1 / Grammar Focus (2021) I A	当該科目Intensive English Studiesは週4回(Function Focus, Listening Focus, Grammar Focus, Voice)テーマ完結型の授業を展開します。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、基本的な文法を確認しながら、4技能を強化します。様々なトピックや場面においてやりとりや自分の考えを発信できるようになることを目標とします。	1/前	30	2	○			○		○	
11		○		Intensive English Studies 2 / Function Focus (2021) I A	当該科目Intensive English Studiesは週4回(Function Focus, Listening Focus, Grammar Focus, Voice)テーマ完結型の授業を展開します。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、基本的な文法を確認しながら、機能表現を学習し、4技能を強化します。様々なトピックや場面においてやりとりや自分の考えを発信できるようになることを目標とします	1/前	30	2	○			○		○	
12		○		Intensive English Studies 2 / Voice (2021) I A	当該科目Intensive English Studiesは週4回(Function Focus, Listening Focus, Grammar Focus, Voice)テーマ完結型の授業を展開します。Voiceの授業は外国人講師により全て英語で行われます。Function Focus, Reading & Listening Focus, Grammar Focusで習得した知識や表現を学生自身のものとして自ら実践的に使うことにより深い定着をさせることを目的とします。	1/前	30	2	○			○		○	
13		○		Intensive English Studies 2 / Reading & Listening (2021) I A	当該科目Intensive English Studiesは週4回(Function Focus, Listening Focus, Grammar Focus, Voice)テーマ完結型の授業を展開します。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、基本的な文法を確認しながら、リーディングやリスニングにも取り組み、4技能を強化します。様々なトピックや場面においてやりとりや自分の考えを発信できるようになることを目標とします。	1/前	30	2	○			○		○	
14		○		Intensive English Studies 2 / Grammar Focus (2021) I A	当該科目Intensive English Studiesは週4回(Function Focus, Listening Focus, Grammar Focus, Voice)テーマ完結型の授業を展開します。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、基本的な文法を確認しながら、4技能を強化します。様々なトピックや場面においてやりとりや自分の考えを発信できるようになることを目標とします。	1/前	30	2	○			○		○	

29	○		Hotel Research I A	ホテル業界に必要な基礎知識を学び、ホテルマンとして素養を身に付け、夏季インターンシップを成功させます。	1/前	30	2	○			○		○		
30	○		サービス接 遇検定対策 (3級) I A	お客様に満足いただける「ホスピタリティマインド」を知識と技術の双方の面から学ぶ。前期の検定取得目標は3級です。当のサービスや接遇について理解をもち、基本的な接客サービスを行うのに必要な知識・技能を身につけるように学習します。また、コミュニケーションの基本や言葉の大切さを学び、体現できるようにします。	1/前	30	2	○			○			○	
31	○		パソコン演 習 Word 基	ビジネスで求められるパソコンスキル (Microsoft Word) の基本操作を習得し、検定合格も目指します。	1/前	30	2	○			○			○	
32	○		フロントオ フィサー ビス I A	ホテル実習室にて、宿泊部勤務を想定し、各セクションの基礎知識を学びます。また、お客様の前での立ち居振る舞いや対応を確認し、夏期休暇のインターンシップに向け、ロールプレイングを多用し現場対応力を身につけます。	1/前	30	2	○			○			○	
33	○		ホテリエ コーデ ネート I A	積極的な自己との向き合い、後期に控える就職活動に向け、意識の改革を行なう。ホテルマン (サービスマン) の心構えを知り、モチベーションアップを図ります。	1/前	30	2	○			○			○	○
34	○		レストラン サービス実 習 I A	レストランをはじめ、ゲストの飲食に関わる全ての接客業務を基礎から学びます。テクニックとコミュニケーションを磨いて、空間をエスコートします。	1/前	30	2	○			○			○	
35		○	英検1(2021) I B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。単語テストも定期的を実施します。	1/後	90	6	○			○			○	
36		○	英検2(2021) I B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。単語テストも定期的を実施します。	1/後	90	6	○			○			○	
37		○	英検3(2021) I B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。単語テストも定期的を実施します。	1/後	90	6	○			○			○	
38		○	TOEIC1(2021) I B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/後	90	6	○			○			○	
39		○	TOEIC2(2021) I B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/後	90	6	○			○			○	
40		○	TOEIC3(2021) I B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/後	90	6	○			○			○	
41		○	TOEIC4(2021) I B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	1/後	90	6	○			○			○	
42		○	Intensive English Studies 2 / Function Focus (2021) I B	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。Audio教材も活用し、4技能 (聴く・話す・読む・書く) の習得に加え、様々なアクティビティーに積極的に参加することにより、基本的な英語コミュニケーション力を養います。同時に自分のことについてまとまった量で発信できる力を養います。	1/後	30	2	○			○			○	
43		○	Intensive English Studies 2 / Voice (2021) I B	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	1/後	30	2	○			○			○	
44		○	Intensive English Studies 2 / Reading & Listening (2021) I B	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。Audio教材も活用し、4技能 (聴く・話す・読む・書く) の習得に加え、様々なアクティビティーに積極的に参加することにより、基本的な英語コミュニケーション力を養います。同時に自分のことについてまとまった量で発信できる力を養います。	1/後	30	2	○			○			○	
45		○	Intensive English Studies 2 / Grammar Focus (2021) I B	当該科目Intensive English Studiesは週4回 (Function Focus, Listening Focus, Grammar Focus, Voice) テーマ完結型の授業を展開します。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、基本的な文法を確認しながら、4技能を強化します。様々なトピックや場面においてやりとりや自分の考えを発信できるようになることを目標とします。	1/後	30	2	○			○			○	
46		○	Contemporar y Issues 1 / Voice (2021) I B	当該科目Contemporary Issuesは、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生する社会事象に関するトピックについて、予め考え、調べ、準備した自身の見解や意見をグループ討論の中で共有します。意見交換を通し、その事物に対する理解をさらに深め、見聞も広めていきます。	1/後	30	2	○			○			○	
47		○	Contemporar y Issues 1 / Reading Focus (2021) I B	当該科目Contemporary Issuesは、週4回 (Discussion, Reading, Writing, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。授業は全て英語で行われます。TED Talksを使い、4技能 (聴く・話す・読む・書く) の習熟に加え、様々なアクティビティーを通して、調べ、考え、自分の意見を伝えるといった活動を実践し、論理的思考力および批判的思考力を養います。この授業では特に読解を中心に行い、アカデミックな内容から、日常の話題まで幅広い読み物に触れ、読解力を養います。	1/後	30	2	○			○			○	

59		○	International Relations (2)	時事問題の背景、影響、解決方法などをディスカッションします。	1/後	30	2	○					○		○			
60		○	News in English1 (2021) I B	This class is designed to develop students' skills in discussion, critical thinking, research, and public speaking.	1/後	30	2	○					○		○			
61		○	News in English2 (2021) I B	This class is designed to develop students' skills in discussion, critical thinking, research, and public speaking.	1/後	30	2	○					○		○			
62	○		Food & Beverage 基礎実務 I B	レストランを中心に、宴会や婚礼に至るまで、それら専門知識の“基礎”と“詳細”を学びます。	1/後	30	2	○					○				○	
63	○		Hotel English (N) I B	同科目Hospitality Englishで基礎会話を習得した内容を、外国人講師を交え、国際的なホテルスタッフに必要な英語力を養います。ホテルで起こり得る様々なシーンを想定して外国人スタッフと上級英語を学びます。	1/後	30	2	○					○		○			
64	○		Hotel English I B	接客英語の基本を中心に学びます。どのような現場においても必要とされる基礎的な表現を理解し、反復練習することで自然な応対を身につけるとともに、苦学意識を持たずに使えるようになることを目指します。	1/後	30	2	○					○				○	
65	○		サービス接客検定対策 (2級・準1級) I B	お客様に満足いただける「ホスピタリティマインド」を知識と技術の双方の面から学び、接客適性を磨きます。そして、資格取得試験を通して、本当のサービスや接客について理解をもち、基本的な接客サービスを行うのに必要な知識・技能を身につけるように学習していきます。	1/後	30	2	○					○				○	
66	○		プレゼンテーション (HT) I B	自立の主張や考えを的確に、効率よく、好感をもって相手に伝えられるよう、話の道筋を確立させる「語法」を学習します。人前で自信を持って「説得力」と「影響力」のあるプレゼンテーションができる力を習得します。	1/後	30	2	○					○				○	
67	○		フロントオフィスサービス I B	フロント/ベルスタッフ/ハウスキーピング/コンシェルジュ業務などお客様の宿泊に関する全ての業務を基礎から学びます。	1/後	30	2	○					○				○	
68	○		ホテルエコーディネート I B	就職活動の流れを理解し、就職内定に向け、積極的に自己分析を行なう。また、筆記試験や提出書類の対策、基本的なビジネスマナーを身につけ、就職面接試験にて、存分に自己表現ができるよう対策を行ないます。	1/後	30	2	○					○				○	
69	○		レストランサービス実習 I B	実技・実習を主に、ホテル・レストランにおけるサービスの基礎を反復から応用、コミュニケーションやシーンを付加し、即戦力を目指します。	1/後	30	2	○					○				○	
70		○	英検4 (2021) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。単語テストも定期的を実施します。	2/前	90	6	○					○					○
71		○	TOEIC1 (2021) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	2/前	90	6	○					○					○
72		○	TOEIC2 (2021) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	90	6	○					○					○
73		○	TOEIC3 (2021) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	90	6	○					○					○
74		○	TOEIC4 (2021) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	90	6	○					○					○
75		○	TOEIC5 (2021) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	90	6	○					○					○
76		○	Contemporary Issues 1 / Reading Focus (2021) II A	当該科目Contemporary Issuesは、週4回 (Discussion, Reading, Writing, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。授業は全て英語で行われます。TED Talksを使い、4技能 (聴く・話す・読む・書く) の習熟に加え、様々なアクティビティーを通して、調べ、考え、自分の意見を伝えるといった活動を実践し、論理的思考力および批判的思考力を養います。この授業では特に読解を中心に行い、アカデミックな内容から、日常の話題まで幅広い読み物に触れ、読解力を養います。	2/前	30	2	○					○					○
77		○	Contemporary Issues 1 / Discussion Focus (2021) II A	当該科目Contemporary Issuesは、週4回 (Discussion, Reading, Writing, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。授業は全て英語で行われます。TED Talksを使い、4技能 (聴く・話す・読む・書く) の習熟に加え、様々なアクティビティーを通して、調べ、考え、自分の意見を伝えるといった活動を実践し、論理的思考力および批判的思考力を養います。この授業ではグループワークを通じ、自分の意見を英語で発信していく力を養います。	2/前	30	2	○					○					○
78		○	Contemporary Issues 1 / Writing Focus (2021) II A	当該科目Contemporary Issuesは、週4回 (Discussion, Reading, Writing, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。授業は全て英語で行われます。TED Talksを使い、4技能 (聴く・話す・読む・書く) の習熟に加え、様々なアクティビティーを通して、調べ、考え、自分の意見を伝えるといった活動を実践し、論理的思考力および批判的思考力を養います。この授業では特にライティングを中心に行い、自分の意見を様々な形式で書き伝える力を養います。	2/前	30	2	○					○					○

121	○	Contemporary Issues 4 / Writing Focus (2021) II B	当該科目Contemporary Issuesは、週4回 (Discussion, Reading, Writing, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。授業は全て英語で行われます。TED Talksを使い、4技能 (聴く・話す・読む・書く) の習熟に加え、様々なアクティビティーを通して、調べ、考え、自分の意見を伝えるといった活動を実践し、論理的思考力および批判的思考力を養います。この授業では特にライティングを中心に、自分の意見を様々な形式で書き伝える力を養います。	2/後	30	2	○			○				
122	○	Cultural Anthropology (2021) II B	This course is an introduction to cultural anthropology with an examination of various cultures, tradition, and beliefs around the world.	2/後	30	2	○			○		○		
123	○	Business (2021) II B	This class is designed as a preparatory course for students' job search and working life.	2/後	60	4	○			○		○		
124	○	Film Criticism (2021) II B	In this course students will learn the fundamentals of film criticism and interpretation. Moreover, students will develop an understanding of film as both a reflection of a larger socio-historical construct and as an artistic medium.	2/後	60	4	○			○		○		
125	○	Both Sides of the Issues (2021) II B	This class is intended to develop students' critical thinking skills and ability to express their opinions in a more complex and nuanced way.	2/後	60	4	○			○		○		
126	○	Journalism (2021) II B	ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	2/後	60	4	○			○		○		
127	○	Design Your Own Adventure (2021) II B	To offer students an opportunity to plan a vacation or an adventure. This is an activity which brings together a wide variety of reading skills, critical thinking and research skills in a practical and far-reaching project.	2/後	30	2	○			○			○	
128	○	Translation (2021) II B	This is intended to be an introduction to non-simultaneous translation. It is intending to build grammar, vocabulary and fluency skills in English, and increase overall speed of processing language.	2/後	30	2	○			○			○	
129	○	卒業制作 II B	ホテルコースで学習した2年間の総仕上げを行いません。卒業に向けて今までの知識や技能を凝縮しまとめ上げます。	2/後	60	4	○			○		○		
130	○	Food & Beverage Management II B	レストランのメニュー作りが主な内容です。メニュー英語、レシピ、食材など、調理分野にも踏み込んだ授業です。概略として、予算や原価、売価設定、人件費などの損益にも触れていきます。	2/後	30	2	○			○			○	
131	○	Food & Beverage商品知識 II B	レストラン、宴会など、ホテルでの提供頻度の高い商品に焦点をあて、より詳細に学びます。例えば、コーヒー。豆を粉砕するところから始めて、ドリップレスティングなどを通じて、香味表現や販売促進などの増大につなげます。	2/後	30	2	○			○			○	
132	○	Hotel English II B	1年次の授業内容をもとに、各職種におけるより高度な会話内容や、より複雑な職務を有する職種における基本的な接客対応表現を身につけます。	2/後	30	2	○			○			○	
133	○	スマートマナー II B	テーブルマナーや冠婚葬祭でのマナーなど「日常のお付き合い」をスムーズにするスマートな大人を目指します。また、日本人独特の文化を知る事により、日本文化の持つ「おもてなしの精神」を養います。	2/後	30	2	○			○			○	
134	○	フロントオフィスサービス II B	ホテル実習室にて、宿泊部勤務を想定し、フロント・ベルデスクにおけるそれぞれの応用知識を学びます。	2/後	30	2	○			○			○	
135	○	対話力トレーニング II B	プロのコウンセリングとインタビューのテクニックを学び、接客やセールスに役立つ聴く力、質問する力を磨きます。	2/後	30	2	○			○			○	
合計				科目	1800単位時間(120 単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業に必要な総時間数は1710時間・114単位		1学年の学期区分	前 後
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。